

科目名称	成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期	1	30
担当教員	宮下佳生 武田千津 山下広恵	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

生活習慣病から生涯にわたって治療を継続し、生活をコントロールしていかなければならない患者の苦悩を理解する。健康の保持・増進、疾病再発の予防など、健康や障害に応じて、患者がその人らしく生きることを支援していくことについて学ぶ。

また、慢性の病いの経験が患者とその家族の成長・発達を促し、発達課題を達成していけるよう、独自性を尊重した看護援助を実践するための知識を習得する。

患者のセルフケア向上には、看護職だけでなく、他職種が関わっており、その協働について学ぶ。

【2】学習目標

- 生涯にわたり疾患のコントロールを必要とする患者の看護が理解できる。
 - 慢性疾患患者のクオリティオブライフを理解できる。
 - 疾病受容過程への援助について理解できる。
 - 自己管理への取り組みを促す援助について考えることができる。
 - 家族（介護者）への支援について考えることができる。
 - 社会復帰に向けた社会資源の活用、他の医療従事者との協働が理解できる。
 - 事例での看護過程の展開を行い、科学的根拠に基づいて査定することができる。
- 化学療法を受ける患者の看護が理解できる。
- 放射線療法を受ける患者の看護が理解できる。
- ステロイド療法を受ける患者の看護が理解できる。
- 内分泌療法を受ける患者の看護が理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態	講師
1	慢性期看護とは 慢性疾患を有する人とその家族の理解	講義	宮下佳生
2	慢性疾患を有する人とその家族への援助 慢性疾患の主な治療法と治療を受ける患者の看護	講義	
3	呼吸器疾患患者の看護	講義	
4	循環器疾患患者の看護	講義	
5	慢性期にある対象の治療による影響と看護 がん患者の治療と看護	講義	武田千津
6	循環器疾患患者の看護 血液・造血器疾患患者の看護	講義	宮下佳生
7	消化器疾患患者の看護(1)	講義	
8	慢性期にある対象の治療による影響と看護 がん患者の治療と看護	講義	山下広恵
9	消化器疾患患者の看護(2)	講義	宮下佳生
10	内分泌・代謝疾患患者の看護	講義	
11	脳神経疾患患者の看護	講義	
12	腎・泌尿器疾患患者の看護	講義	
13	アレルギー・膠原病患者の看護(1)	講義	
14	アレルギー・膠原病患者の看護(2)	講義	
15	筆記試験・まとめ		

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験、レポート内容、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 成人看護学総論 成人看護学(1), 医学書院
系統看護学講座 呼吸器 成人看護学(2), 医学書院
系統看護学講座 循環器 成人看護学(3), 医学書院
系統看護学講座 血液・造血器 成人看護学(4), 医学書院
系統看護学講座 消化器 成人看護学(5), 医学書院
系統看護学講座 内分泌・代謝 成人看護学(6), 医学書院
系統看護学講座 腎・泌尿器 成人看護学(8), 医学書院
系統看護学講座 アレルギー・膠原病・感染症 成人看護学(11), 医学書院
系統看護学講座 別巻 がん看護学, 医学書院
看護過程に沿った対症看護, 学研

【7】参考書

黒江ゆり子:経過別成人看護学(3) 慢性看護, メヂカルフレンド社
鈴木久美:成人看護学慢性期看護, 南江堂
ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護(1)呼吸機能障害／循環機能障害, メディカ出版
ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護(3)造血機能障害/免疫機能障害, メディカ出版
ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護(7)疾病と治療, メディカ出版
ナーシング・グラフィカ 成人看護学①成人看護学概論, MC メディカ出版
ナーシング・グラフィカ 成人看護学④セルフマネジメント, MC メディカ出版、2015
正木治恵:慢性疾患看護と疾病論, 医歯薬出版株式会社
今川詢子:機能障害からみる看護過程, 中央法規

【8】受講生へのメッセージ